

名称：研修会

1. 実施日時：2019年5月11日（土） 15時15分～16時25分
2. 会 場：ルームス水道橋店 第5会議室
3. 講 師：佐々木ゆかり氏（会員）
4. 参加人数：計 8人 （千葉県7人、群馬県1人）
5. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

認定看護師として新たな知見を得て、看護実践力を高める
(臨床倫理の基本と認定看護師としての役割行動を理解し行動につなげることができる)

(2) 具体的な内容

「訪問看護における臨床倫理への気づき-倫理的課題への気づきと ACP の重要性」
在宅の場で生じやすい倫理的問題と客観的に分析し対応する方法、認定としての姿勢や役割を学ぶ

(3) 活動の効果

認定看護師として活動する中で、もやもやを感じながらもそのままにしてしまうことの多い倫理的問題について、発生の背景や要因・原因、分析・対応方法などについて、事例を基に共有し、意見交換することができた。主観的になりがちな事実をできる限り客観的にとらえ建設的な支援につなげるなど、今後の活動に役立つヒントを得ることができた。

(4) その他

普段の活動の中では、深い内省や新たな知識を得るための時間を確保することが難しく、会員の学びのニーズは高いと感じた。今後も継続してできるとよいと思う。

名称：ブロック会議

1. 実施日時：2019年5月11日（土） 14時～15時15分

2. 会 場：ルームス水道橋店 第5会議室

3. 参加人数：計8人（千葉県7人・群馬県1人）

4.活動内容の報告



(1) 活動の目的

昨年度の活動を振り返り、今年度の活動計画を検討する。会員同士の交流を図る

(2) 具体的な内容

昨年度は会議を2回、研修を1回開催した。内部講師による研修会では、新たな知見を得て意見交換も活発にできた。千葉県の訪問看護基礎研修会では会員が講師を務め、講師間の連絡・調整が前年度に比べ円滑にできたことで、研修内容が充実し参加者からよい評価を得られた。

今年度は、昨年度同様の活動を基本とし、新たに地域で活動する既存のケアマネなどの団体を対象に、在宅看取りに関する研修会を行うこととした。活動目標は前年同様：北関東ブロック会員の拡大や参加を促し、会員間の連携・協働体制を強化する。地域の訪問看護職員増員や質向上を目指しめざし、学び交流する場を提供、地域に貢献する、とした。

現在、各会員への連絡係を1名置いているが、会員数も増加することから、新たに県代表（連絡係）を置き連絡係を支援する体制をとることになった。

(3) 活動の効果

前年度の活動の振り返りと今年度の活動計画が具体化できた。また各会員の個々の活動状況を知ること、自己の活動について考えることができた。新規事業となる他職種への研修会の実施は会員の意欲を高め、認定の役割をあらためて考えるきっかけとなっていた。

(4) その他

研修会と会議の同時開催で交通費が支給されるようになったことが要因かどうかは不明だが、参加者が固定化される傾向にある中で、今回8名（最大）の出席があった。

名称：ブロック会議

1. 実施日時：2019年8月3日（土） 13時30分～16時15分
2. 会 場：千葉メディカルセンター 多目的室3
3. 参加人数：計 10人 （千葉県10人）
4. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

10/19開催予定の研修会プログラムの作成と事前準備・調整事項などの検討

(2) 具体的な内容

- 当初は介護支援専門員を対象に看取り研修を行う予定でいたが、介護支援専門員にとって看取り研修はハードルが高いとの意見があり、まずは訪問看護の周知と活用、有効な連携・協働のきっかけを作ることを柱に、対象者はそのまま実施に向けることになった。
- 今回の結果に、ほか会員の意見も取り入れて内容の改善を図り、10月の実施に向ける。

* 研修計画の詳細は別紙資料参照

(3) 活動の効果

- 研修会開催に向けて、目的や具体的な準備などが明らかになった。
- また今後ブロック会活動を行う上での方向性の再確認と課題が少しずつ明らかになっていることの実感があった。（研修会実施後の振り返りを行い、研修会開催とブロック活動のあり方の両側面から今後の活動について考えていけるとよいと考えた）

(4) その他

今回研修会という形で認定看護師が地域貢献できることで、まだ準備段階ではあるが会員のモチベーションが高まっていることを感じた。個人・団体としての存在意義が再確認でき充実感が得られるような活動が協議会や各ブロックで展開できると、個々の会員の意欲が高まる。また会員確保にもつなげやすいのではないかと感じた。



名称：ブロック会議

1. 実施日時：2019年10月19日（土） 12時00分～13時15分、16時30分～17時15分
2. 会 場：船橋市保健福祉センター 大会議室
3. 参加人数：計 12人 （千葉県11人・群馬県1人）
4. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

10/19（当日の）介護支援専門員対象の研修会に関する直前準備と研修会実施後の振り返り

(2) 具体的な内容

【研修会前】

これまでの事前準備状況の経過報告、研修会の目的・目標の再確認、研修会の流れと当日の役割分担の確認と調整、研修会準備・実施に関することの意見交換など

【研修会后】

参加者アンケート結果の確認、研修会実施後の振り返りと今後の活動に関する意見交換

*添付資料参照

(3) 活動の効果

- 研修会の直前準備について共有でき、状況変化に対応しながら計画に沿った研修会の実施と運営ができた。
- 研修会の企画・運営を通して、認定看護師としての活動や教育支援者としての役割を認識できた。
- 研修会実施直後に振り返りを行ったことで、アンケート結果などを踏まえての今後の研修会の開催や活動に関する方向性の共有ができた。

名称：北関東ブロック主催（介護支援専門員対象）研修会

1. 実施日時：2019年10月19日（土） 14時00分～16時00分

2. 会 場：船橋市保健福祉センター 大会議室

3. 参加人数：計47人（千葉県47人）

4. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

*添付資料参照

(2) 具体的な内容

*添付資料参照

(3) 活動の効果

- 船橋市を中心に県内の介護支援専門員47名が研修会に参加した。
- 参加者は、訪問看護や認定看護師への理解が深まり、連携してみようとするきっかけ作りができた。
- 認定看護師は研修会の企画・運営を通して自身の役割を認識し、活動への手応えを感じることができた。次の活動につなげていくためのよい機会ともなった。

(4) その他

介護支援専門員からみると訪問看護の具体的な活動や連携の実際などまだまだ周知が不足していることがわかった。参加者アンケートや参加した認定看護師の意見を整理し、今回参加できなかった者を含めて共有、今後の活動に役立てたい。



日本訪問看護認定看護師協議会北関東ブロック研修会 計画と実施 2019.10.11.19	
研修会が必要となる背景	<p>千葉県内の介護支援専門員は介護関連の基礎資格取得者が多く、医療が必要な利用者や看取り時の対応などに苦手意識を持っている。そのため訪問看護に関する知識や連携・協働の経験不足などから、必要とされている利用者に訪問看護が適切に活用されていない状況がある。</p> <p>加えて介護支援専門員からみた訪問看護（師）との連携・協働に関する課題を明らかにし、訪問看護の活用促進に向けての認定看護師（協議会ブロック会員）としての活動について考えていく必要がある。</p>
研修会名	日本訪問看護認定看護師協議会北関東ブロック主催研修会
テーマ	<p>「一緒に考えてみませんか？」</p> <p>ケアマネジャーと訪問看護師との連携・協働の現状とこれから ～明日から実践できる病状に合わせたケアプラン作成～</p>
日時	2019年10月19日（土）14：00～16：00（受付13：30）
会場	<p>船橋市保健福祉センター 大会議室</p> <p>船橋市北本町 1-16-55</p> <p>最寄り駅：東武野田線「新船橋駅」 JR「船橋駅」</p>
対象者	<p>千葉県内で就業している介護支援専門員 80名→約50名 （グループワーク：1グループ6～8名）</p> <p>*多数応募の場合、多くの事業所からの少人数参加に絞り込む</p>
参加費	<p>無料</p> <p>*試行的な開催であること、有料の場合の参加動向が読めないことから、今回は参加費なしで実施することとした</p>
主催者	<p>【主催】日本訪問看護認定看護師協議会北関東ブロック</p> <p>【後援】船橋市在宅医療ひまわりネットワーク</p>
目的	<p>① 介護支援専門員が訪問看護制度を正しく理解し、活用について考えることができる。訪問看護師との連携や協働について考えるきっかけとなる</p> <p>② 地域で介護支援専門員が訪問看護を積極的に活用しにくい現状を把握し、訪問看護認定看護師（ブロック会員）として地域貢献に向けた（研修会等を含めた）方策や活動の方向性について検討する</p> <p>③ 訪問看護、訪問看護認定看護師、日本訪問看護認定看護師協議会とその活動について周知し、多職種連携や地域ネットワーク強化を推進する</p> <p>④ 認定看護師として他職種教育に関する知識や能力の向上を図る</p>
目標	<p>① 介護支援専門員は、訪問看護利用や訪問看護師との連携の現状（連携できていること・できていないこと、訪問看護利用に関して困っていることなどの状況、原因、対応など）について振り返ることができる</p> <p>② 介護支援専門員は、訪問看護制度（サービス）について正しく理解できる</p> <p>③ 介護支援専門員は訪問看護活用の利点について考え、活用できそうと思うことができる</p> <p>④ 介護支援専門員は、訪問看護認定看護師や日本訪問看護認定看護師協議会の役割や活動について知る</p> <p>⑤ 認定看護師は、地域の他職種（介護支援専門員）の教育的ニーズを把握し、研修会の企画や運営、教育手法などについて考えることができる</p>

名称：ブロック会議

1. 実施日時：2020年1月18日（土） 13時30分～16時15分

2. 会 場：ルームス水道橋店 第5会議室

3. 参加人数：計7人（千葉県7人）

4. 活動内容の報告

(1) 活動の目的

今年度の活動を振り返り、次年度の活動計画を検討する。会員同士の交流を図る

(2) 具体的な内容

昨年度は会議を4回、(ケアマネ向け)研修会を1回開催した。ケアマネ研修会の開催準備は不慣れさもあったが、会員が協力して実施でき、会員・研修会参加者共に満足度が高かった。次年度は今年度のプログラムを基に内容や運用などのバージョンアップを図り実施に向ける。CNが活動する地域での開催や、県・地域団体(ステーション協会ほか)との協働など検討していく。(別紙資料参照)

5月の会議で新設した県代表の役割として、県内会員の意見集約と会員への情報提供機能の強化に加え、新規会員獲得に向けた活動(周知や案内)を追加した。連絡系の名称をブロック長補佐に変更、ブロック長⇄ブロック長補佐⇄県代表⇄各会員の流れで情報伝達などを行うこととした。

次年度ブロック会議は年2回(5月、1月)を基本とし、意見は全会員から募集、会議出席者を主軸に内容を検討することにした。研修会は会員向けと、多職種向けで考えて行く予定。

(3) 活動の効果

今年度の活動の振り返りと次年度の活動の確認ができた。研修会開催では、準備・実施・実施後評価の大変さはあったが、会員の意欲を高め多くの会員から意見を得ることができ充実した活動となった。